

## STEP 事業報告（ワイズメンズクラブ西日本区）

報告者：中村 晃士（熊本県立済々黌高校 2年）

訪問先：カナダ フレデリクトン

日 程：7月 22日～8月 10日+1日

1. はじめに
2. STEP 事業での目的
3. STEP での活動と経験
4. 現地 YMCA とワイズメンズクラブ
5. 活動から得られたこと
6. まとめ

### 1. はじめに

今回はワイズメンズクラブ STEP 事業に推薦いただきありがとうございました。私の父は熊本 YMCA スタッフで宮崎ワイズメンズクラブに所属しています。私も子どものときから YMCA のスポーツやキャンプに参加し、ワイズメンズクラブの活動に参加したこともあります。YMCA、ワイズメンズクラブでは海外の活動もあることは聞いていましたが、高校生になり、海外への関心が高まっていたところ、今回上村眞智子九州部長の後押しもあり、STEP 事業への参加を希望しました。今回の受け入れ先となりましたイプシロンワイズメンズクラブのトッドさんご夫妻との調整を、利根川恵子ワイズ、金澤前国際交流事業主任、中井国際交流事業主任からもサポートいただきました。その他多くの皆様のご配慮によりこの事業を進めていただき本当にありがとうございました。

3週間カナダのフレデリクトンと言うところに行き、トッドさんとカレンさんの所やワイズメンのご自宅にホームステイしてきました。海外の文化や生活の経験、YMCA とワイズメンズクラブの国際性、英語の大切さなどを感じた日々でした。

### 2. STEP 事業での目的

ワイズメンズクラブ国際協会 STEP 事業（ユース短期交流事業）とは、高校生や大学生の海外短期交流プログラムで、若者の国際交流や国際理解を目的としています。私も将来の大学や仕事を考えるにあたり、これからは海外経験も必ず必要と思い、今回応募しました。今、YMCA の英会話教室にも通っており英語の力も付けたいと思いました。

### 3. STEP での活動、経験

フレデリクトンはカナダの東側にあり、日本との時差は12時間です。カナダに行く前に熊本ジェーンズワイズメンズクラブの例会に参加しカナダへ行くことを報告しました。

約1日かけて、福岡、成田、カナダモントリオールと乗り継ぎフレデリクトンに到着。トッドさんとカレンさんが迎えてくれ、緊張していましたがお二人に会ったときはほっとしました。すべて一人で乗り継いで行くと言う経験は初めてでした。

フレデリクトン観光やフレデリクトンYMCA訪問、ブランズウィック大学訪問などしました。この州で一番広く、理系に特化した大学でとても興味を持ちました。私は大学で理系の勉強をしたいと考えています。フレデリクトンは大きな川の近くにある街で、モーターボートに乗ったり、釣りをしたり、いろいろな活動をしました。

3日ほど無人島にあるキャンプ場で子どもたちのキャンプのヘルパーをしました。子どもたちと遊んだり、ビーチに連れて行ったり、食事の準備などしました。子どもたちにサッカーやバスケットボールを教えることができ楽しく過ごしました。その他博物館やホエールウォッチング、浸食されたファンディーロックなどを見たり、カナダの自然や歴史などを学ぶことができました。またカレンさんのお父さんの家にホームステイしたり、フライフィッシングを教えてもらったり、乗馬をしたりと盛りだくさんの経験をさせてもらいました。港町で大きなロブスターも食べたりワイズメンズクラブの皆さんでバーベキューをしてくれたり、たくさんの方が集まり楽しい時間を過ごせました。みなさんとても温かく、家族のように接してくれました。

### 4. 現地ワイズメンズクラブ、YMCA

トッドさん、カレンさんの所属するイプシロンワイズメンズクラブの皆さんと食事をしたり、観光に連れて行ってもらったりしました。みなさん本当に温かく受け入れてくださいました。熊本のワイズメンズクラブの例会やイベントにも参加したことがありますが、国が違っても同じワイズメンズクラブの仲間という感じがしました。日本から一人で行きましたが段々家族のように思えてきました。

フレデリクトンYMCAはとても大きなYMCAで、約5000人のメンバーがいるそうです。フィットネスやプール、チャイルドケア、キッズプログラムなどたくさんのプログラムがありました。フレデリクトンYMCAでも子どもたちのデイキャンプの手伝いをし、子どもたちと仲良くなったり、リーダーの仕事を経験することで勉強になりました。私は子どもの頃からYMCAのサッカーやキャンプなどに通いました。YMCAが国際的な団体とは聞いていましたが、今回ワイズメンズクラブも国際的な団体で、いろいろな国に仲間がいることを感じました。

## 5. 活動から得られたこと

カナダでの 20 日間はあっという間に過ぎ、最後の方では帰りたくなくなりました。また必ずカナダに行きたいと思います。飛行機が遅れ、東京で急きょ一泊するというトラブルもありましたが、カナダへ一人で行けたので問題ありませんでした。

今回の STEP 事業で得られたもっとも大きなことは、「自信」です。カナダに行くまでは不安もあったり、怖い気持ちもありましたが、やり遂げた自信や外国でも何とか言葉が通じる自信が付きました。そしてもう一つはカナダに家族ができたことです。必ずまたカナダに行くことを約束しました。今度は留学かもしれませんし、旅行かもしれません。遠い国ですがそこに家族がいると感じることはとても大事だと思います。今までは熊本のこと、日本のことしか考えていませんでしたが、カナダのニュースや海外の出来事など興味を持つようになりました。

## 6. まとめ

これが私がカナダで経験したことです。一人で海外へ行くのははじめてで飛行機の乗り換えや、英語に慣れるのが難しかったりしましたが、徐々に慣れました。カナダに行った経験から英語はとても必要だということが分かりました。まだまだ十分話すことができないのでこれからもっと練習していきたいと思います。カナダの大学に行ったことにより、日本の大学だけでなく、海外の大学も進学の世界に入れることができました。

カナダへ行くことで改めて YMCA とワイズメンズクラブの国際団体としての力、そして世界にファミリーがいることを感じました。

この度はワイズメンズクラブの皆様には大変お世話になりました。私にとってこの STEP 事業の経験は本当に大きなものでした。ぜひこれからも多くの高校生にチャンスをつくっていただきたいと思います。本当にありがとうございました。







